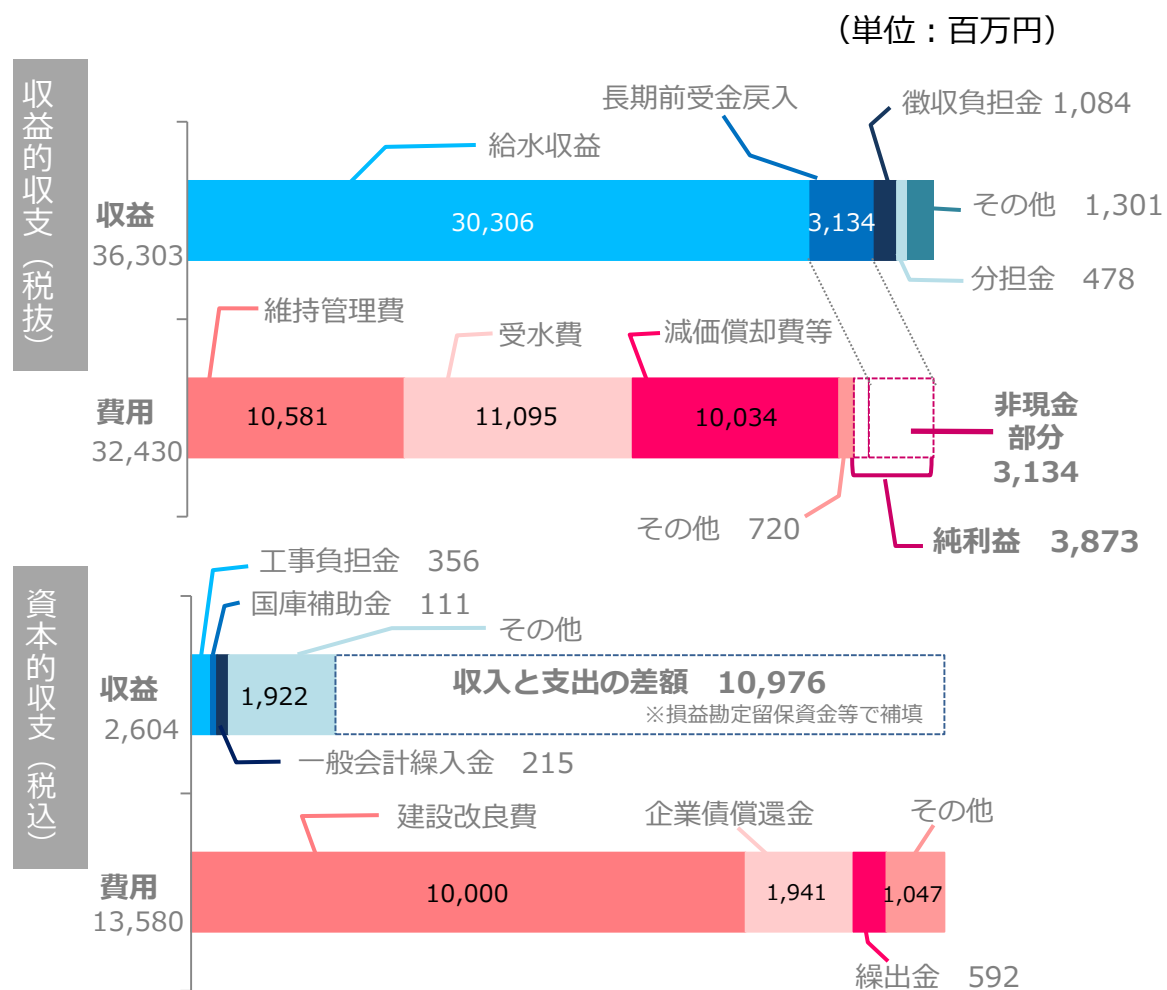


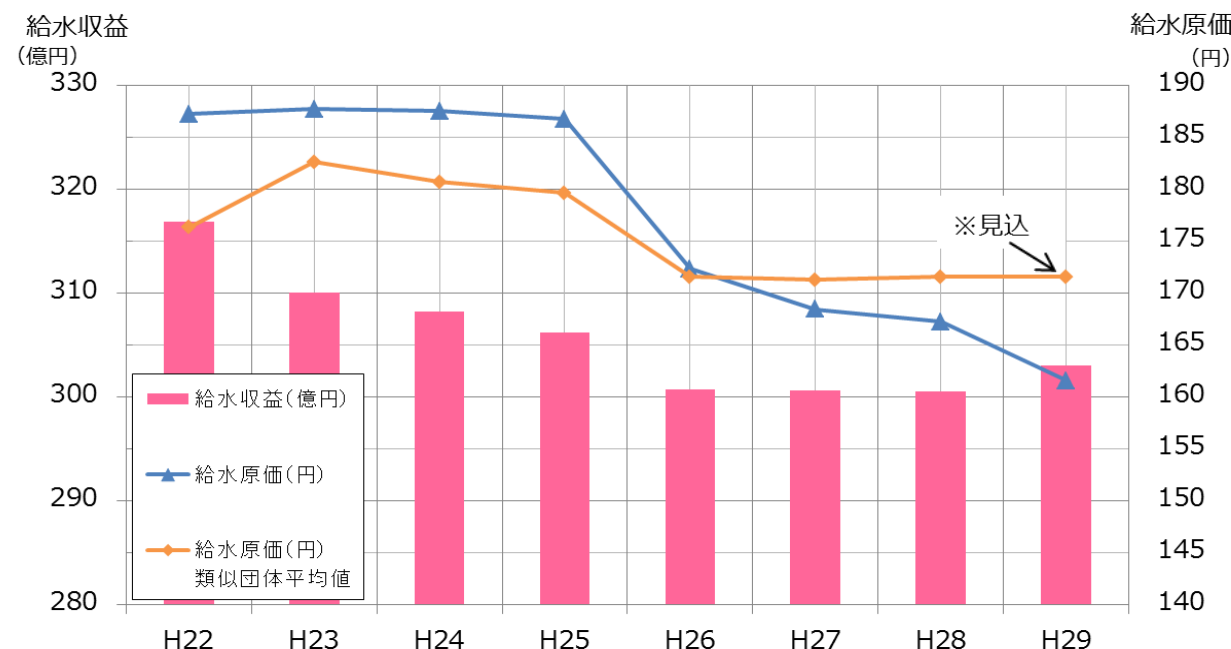
# 平成29年度 決算

## 水道事業

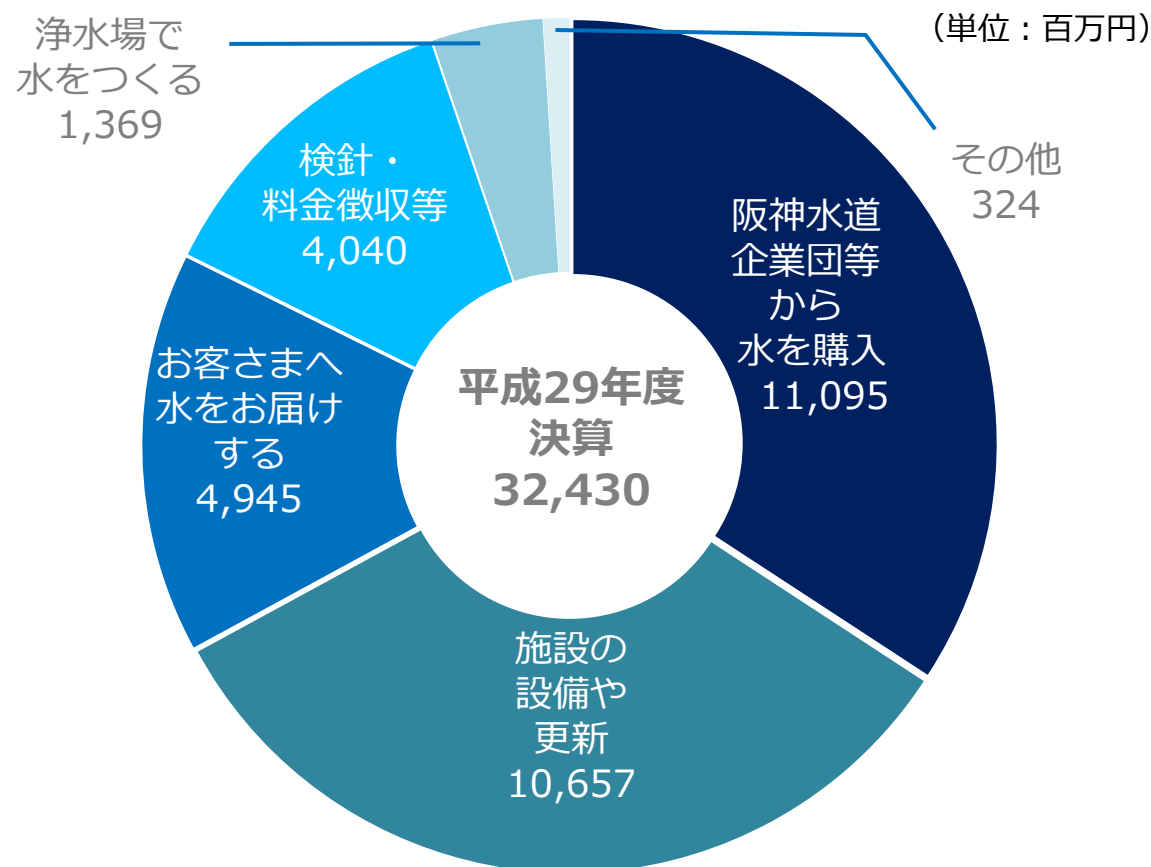


# 給水収益と給水原価

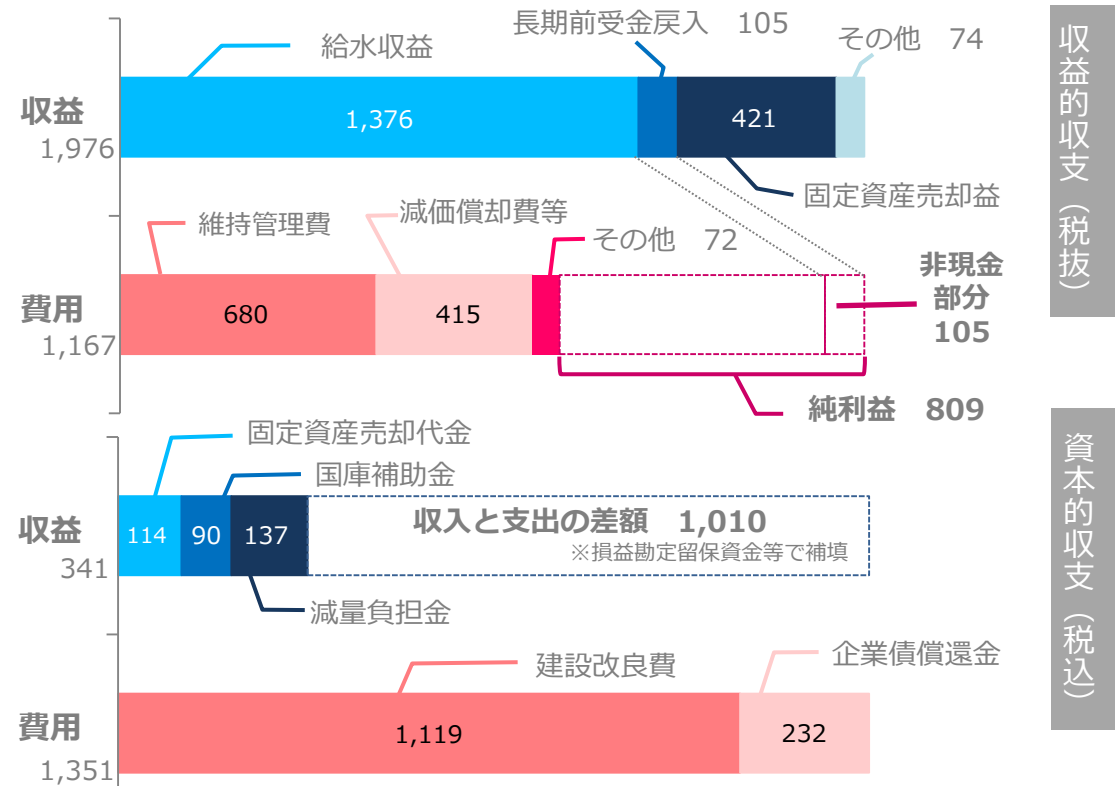
人口減少や節水機器の普及などにより、給水収益は減少傾向にあるものの、効率的・効果的な事業運営を努めた結果、1 m<sup>3</sup>あたりの水の製造に係る費用（給水原価）も減少傾向となっている。また、近年の給水原価は、類似団体平均値を下回っている。



# 水道料金の使い道



## 工業用水道事業



※損益勘定留保資金とは、収益的収支のうち、実際の現金支出を伴わない減価償却費等を留保したものである。